

# 製品安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名	OXIDER 置き型・携帯用(液剤)	
会社名	株式会社 CLO2 Lab	
住所	兵庫県西宮市松生町 11-18-1F	
担当部門	研究開発本部	
電話番号	0798-56-9623	作成: 2018年8月21日
FAX番号	0798-56-9633	改訂: 2021年4月28日

## 2. 危険有害性の要約

### 【GHS 分類】

#### 物理化学的危険性

爆発物	分類対象外
可燃性又は引火性ガス(化学的に不安定なガスを含む)	分類対象外
エアゾール	分類対象外
支燃性又は酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類できない
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	分類できない
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	分類できない
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない

#### 健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分 4
急性毒性(経皮)	区分 4
急性毒性(吸入: 気体)	分類対象外
急性毒性(吸入: 蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入: 粉じん及びミスト)	分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分 2
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	区分 2

発がん性	区分外
生殖毒性	区分外
特定標的臓器毒性, 単回ばく露	区分 2 (呼吸器系、腎臓)
特定標的臓器毒性, 反復ばく露	区分 2 (心臓、血液)
吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有毒性(急性)	区分 2
水生環境有毒性(長期間)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

## 【GHS ラベル要素】

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

飲み込むと有害

皮膚に接触すると有害

皮膚刺激

強い眼刺激

遺伝性疾患のおそれの疑い

臓器の障害のおそれ(呼吸器系、腎臓)

長期にわたる、又は反復暴露により臓器の障害のおそれ(心臓、液)

水生生物に非常に強い毒性

注意書き

一般

受診時は、安全データシート(SDS)または商品を持参する。

子供や認知症の方などによる、誤飲、誤食、誤使用、その他の事故を防ぐため、置き場所に注意する。

必ず使用前に「安全データシート(SDS)」と「使用上の注意」をお読みください。

貴金属・精密機器の間近では使用しない。金属を腐食する可能性がある。

安全対策(予防策)

他の容器に移し替えないこと。

粉塵/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

眼、皮膚、衣類に付けないこと。

応急措置(対応策)

目に入った場合、こすらずに直ちに流水で 15 分以上洗い流す。(コンタクトレンズは外せる場合には外す。)速やかに医師の診断を受ける。

皮膚に付いた場合、直ちに多量の水で十分に洗い流す。(液が付着した衣服や靴などは、直ちに脱ぐ。本剤が付着した衣類は、そのまま再着用しない。)異常がある時は医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合、無理に吐かせずに、すぐに口をすすぎ、多量の水または牛乳や生卵を飲ませること。意識のない場合は口から何も与えないこと。速やかに医師の診断を受けること。

保管(貯蔵)	容器に記載されている応急処置法を見て、対応すること。 直射日光を避け高温の場所に置かないこと。
廃棄	内容物/容器を許可を受けた産業廃棄物業者に委託し、関連法規等を順守し廃棄すること。

### 3.組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学特性	
成分及び濃度	

化学名	CAS番号	官報公示整理番号(化審法)
亜塩素酸ナトリウム	7758-19-2	1-238

### 4.応急措置

吸入した場合	吸入した場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、身体を楽にして休息させる。
皮膚に付着した場合	直ちに多量の水で洗い流す。必要に応じて医師の診断を受ける。
眼に入った場合	流水で15分以上洗眼し、医師の手当てを受ける。この場合清浄な微温湯が容易に得られる時は疼痛を軽減する点で冷水洗浄よりも効果がある。
飲み込んだ場合	直ちに口の中を水で洗浄し、多量の水又は牛乳や生卵を飲ませる。意識のない場合は口から何も与えない。無理に吐かせず速やかに医師の診断を受ける。
応急措置をする者の保護	救助者は炊事用手袋、保護メガネなどの保護具を着用する。

### 5.火災時の措置(周辺火災時)

消化剤	大量の水による
使ってはならない消火剤	二酸化炭素(空気遮断用途では効果が期待できない)
特有の危険有害性	火災によって刺激性又は毒性のガス及びヒュームを発生するおそれがある。 加熱により容器が爆発するおそれがある。 火災に巻き込まれると、燃焼を加速する。 周辺火災の処置は次による。
特有の消火方法	1) 容器を安全な場所へ移動する。 2) 移動不可能な場合は、容器及び周辺に注水して冷却する。 消火作業の際は、ゴム製保護衣、ゴム製保護手袋、ゴーグル型保護眼鏡、ゴム長靴、空気呼吸器など適切な保護具を着用する。
消火を行なう者の保護	

### 6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業時には必ず保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。
環境に対する注意事項	流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないよう注意する。 漏出源を遮断し、漏れをとめる。
封じ込め及び浄化方法及び機材	容器からこぼれた時は、可能であれば、空容器に回収する。 可燃物の紙やおがくずに吸収させてはいけない。触れないように注意しながら 多

量の水で洗い流す。

付着物、回収物などは、速やかに専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

また容器類は常時点検し、漏れないように努める。

## 7. 取扱いおよび保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

(局所排気・全体換気等)

適切な保護具を着用し、吸引や眼、皮膚、衣類への接触を防ぐ。

取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

可燃物／禁忌物質と混合を回避するための予防策を取る。

取扱いは、換気の良い場所で行う。

熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。

この製品を取り扱う時に、飲食または喫煙をしない。

#### 安全取扱注意事項

キャップを開けるときは、原液が飛び出さないように注意する。

重金属などの異物の混入や気温の上昇は分解を促進し、液が噴出する事があるので、注意する。

他の洗浄剤との併用は避ける。作業中に温度が上昇したり、pH が低下したり、重金属類の混入した場合、酸素または塩素を放出するので注意する必要がある。

可燃物や酸化されやすい物質との混触を避けること。

『10. 安定性及び反応性』を参照。

#### 接触回避

#### 保管

可燃物質及び指定された禁忌物質、熱源、火源から離して保管すること。

適切な技術的対策、及び混色

油脂類、有機物、強酸、還元性物質等の混入や接触を避けること。

禁止物質との分離

直射日光を避けて冷暗所に保管する。

幼児の手の届かないところに保管する。

適切な保管城家の予備避け

るべき保管条件

製品使用容器に準じる。

安全な容器包装材料(推奨材

料及び不適切材料)

## 8. 暴露防止及び保護措置

#### 管理濃度

設定されていない

#### 許容濃度

日本産業衛生学会

設定されていない

ACGIH

TWA (2008 年版) : 0.1ppm (0.28 mg/m<sup>3</sup> 二酸化塩素として)

STEL (2008 年版) : 0.3ppm (0.83 mg/m<sup>3</sup> 二酸化塩素として)

#### 設備対策

直接取り扱う場所では、局所排気その他の設備対策を使用するなど、換気をよくする。なお大量に扱う場合は、局所排気装置や全体排気装置、手洗い設備、洗

保護具	眼設備を設けることが望ましい。
呼吸器の保護具	
手の保護具	扱う量によっては呼吸用保護具
眼の保護具	ゴム手袋
皮膚及び身体の保護具	保護眼鏡 ゴム前掛、安全靴

## 9.物理的及び化学的性質

外観(物理的状态、形状、色など)	無色又は微黄色透明の液体
臭い	無臭
臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	12 以上
融点・凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
蒸発速度	データなし
燃焼性(固体、気体)	該当しない
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度沸点	データなし
比重(相対密度)	比重(20°C) 約1.09
溶解性	水に可溶
オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度(粘性率)	データなし
その他のデータ	なし

## 10.安定性及び反応性

反応性	還元性物質や強酸、アルデヒド等と混合すると激しく反応して二酸化塩素ガスを発生する。可燃物と混合すると発火、爆発する可能性がある。
化学的安定性	長期間高温での保管や直射日光、紫外線で徐々に分解して、二酸化塩素ガスを生ずる可能性がある。
避けるべき条件	加熱、衝撃・摩擦、可燃物、火花・裸火、混触危険物質との接触
混触危険物質	還元剤、強酸
危険有害な分解性生物	二酸化塩素
その他	なし

## 11.有害性情報

急性毒性(経口)	ラット LD50 165mg/kg
急性毒性(経皮)	ラット LD50 157.5mg/kg ウサギ LD50 107.2mg/kg
急性毒性(吸入:蒸気)	データなし
急性毒性(吸入:粉じん及びミスト)	データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	ウサギを用いた皮膚刺激試験で、弱い刺激性あり。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	ウサギのデータ2つ(刺激性あり)から刺激性が明らかである。
呼吸器感作性又は皮膚刺激性	データなし
生殖細胞変異原性	マウスの in vivo 小核試験における腹腔内投与で陽性(経口投与では陰性)
発がん性	IARC:グループ3、EAP:グループD
生殖毒性	ラット及びマウスで、軽微な生殖への影響がみられた。ウサギでいくらかの所見が見られたものの、直接投与に関連したものと考えられない。
特定標的臓器毒性、単回曝露	ヒトで経口ばく露による呼吸器系起因のチアノーゼ、腎不全、吸入ばく露による肺水腫、呼吸困難、気道刺激性が報告されている。
特定標的臓器毒性、反復曝露	ラットで投与に伴う有意な血液への影響、心筋症が報告されている。
吸引性呼吸器有害性	データなし

## 12. 環境影響情報

生殖毒性	甲殻類(オオミジンコ)EC50(48h):0.0146ppm
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

## 13.廃棄上の注意

汚染容器及び包装	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。 廃棄の前に、亜硫酸ナトリウム水溶液等を用いて可能な限り中和等の処理を行って無害化する。 汚染されたものは、十分に水洗いした後、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切に処分する。
----------	--

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

国連番号	3266
品名(国連輸送名)	その他の腐食性物質(無機物)(液体)(アルカリ性のもの)
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	8(腐食性物質)

### 特別の安全対策

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。  
火気、熱気、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。  
移動、転倒、衝撃、摩擦などを生じないように固定する。

### 国内規制－陸上輸送

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

### 国内規制－海上輸送

船舶法に定められている輸送方法に従う。

### 国内規制－航空輸送

航空法に定められている輸送方法に従う。

## 15. 適用法令

消防法	該当しない
労働安全衛生法	表示該当物質に該当しない 通知対象物質に該当しない
船舶安全法	腐食性物質(亜塩素酸ナトリウム、水溶液)
航空法	腐食性物質(亜塩素酸ナトリウム、水溶液)
毒物及び劇物取締法	該当しない
化学物質排出把握管理促進法	該当しない

## 16. その他の情報

引用文献 1) 安全衛生情報センター「亜塩素酸ナトリウム」モデル MSDS

### 記載内容の

この情報は、新しい知見に基づき改訂されることがあります。

### 取扱い

記載内容は現時点で入手できた資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全策を実施の上、ご利用ください。